

それぞれが目指す
シゴトの

GOAL!!!

パーフェクトサポート

ホペイロというプロを
日本サッカーに広めたい。



東京ヴェルディ1969 ホペイロ/松浦紀典さん

TOKYO VERDY 1969



© NTV.FC

▲季節によってケアの仕方も違う。「シューズは生き物のように反応するんです」

選手のシューズやウェアなどを維持管理するのがホペイロの仕事です。チーム全員のシューズをまとめて、汚れを拭き取って新品同様に仕上げます。忍耐力のある仕事ですが、選手がサッカーに集中できる環境をつくる重要な役割です。一口にシューズといっても、選手によってデザインや素材、ひもの長さや結び方が違うし、穴が開くまで履き古す選手も、足に馴染むとすぐ新品に代える選手もいます。各自の好みやクセに合わせ、常にベストの状態に整えてあげるのが仕事の楽しさですね。

Jリーグ発足時に僕もチームと契約を結び、日本人で初めてプロのホペイロになれました。当時、ラモスさ

んやカズさんに「選手がプロになったんだからスタッフやフロントもプロ意識を持って」とよく言われました。ホペイロは世界のサッカー界では欠かせない職業として認められていますが、日本ではまだこれから。一人のプロとして、日本のサッカーのためにこの仕事を広めていきたいですね。



▲チーム名もメンバーも変わったヴェルディ。個性派集団がJリーグへ動き出す。

©NTV.FC